

平成27年5月14日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

池本，板倉，鎌田，菅，高橋，長澤，中島，名和，羽田，平勢，柁屋，真鍋，安富の各教授

李，池亀，小寺，鍾，塚本，馬場，古井，森本，シルツの各准教授

海外渡航者

大木，黒田，佐藤の各教授

海外研修出向者

松田教授

議事

4月16日開催の教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について、資料P6のとおり4件。

報告事項

2. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

1) 第1回東京大学評価委員会（4月21日）

教員評価の実施状況に係るアンケート等について審議された旨報告があり、今後、新たに教員を採用した場合、研究所ホームページを通じて採用理由等を公表していくこととしたい旨説明があった。

また、第9回東大フォーラム（UTokyo Forum 2013）の会場となったカトリカ大学、チリ大学との間で戦略的パートナーシップを構築する計画があり、本研究所としても同フォーラム出席者を中心に協力していく旨説明があった。

2) 科所長会議（4月21日）

①第4回東京大学伊藤国際学術研究センター（IIRC）会議の企画公募

資料P10～14に基づき、平成28年1月から平成29年12月までを対象開催期間として国際会議の企画等を公募しているので、要件に当てはまる企画等があれば、本助成制度の活用を検討していただきたい旨説明があり、続けて、前回公募で大木教授申請の会議企画が採択され、5月30日～31日の2日間でシンポジウムが開催されること等報告があった。

②平成27年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦

資料P15～22に基づき、候補者がある場合は推薦書等を作成のうえ、所長宛

に提出いただきたい旨説明があった。

③平成27年度「東大の研究室をのぞいてみよう！～多様な学生を東大に～」プログラムの実施

資料P23～28に基づき、平成27年8月及び平成28年1月～3月に各2日間実施を予定している旨報告があった。

④兼業手続きの徹底

資料P29に基づき、担当理事・副学長より適正な手続きが行われるよう、教職員に対する周知徹底の依頼があった旨報告があり、続けて、松井事務長から、資料P30～34に基づき、営利企業の役員等兼業を中心として補足説明があった。

⑤安田講堂への移転

資料P35に基づき、役員室を含めた本部棟7～10階の部署・機能が安田講堂に移転した旨報告があった。

3) 拡大入試監理委員会（5月12日）

前年度入試関係各種委員会の引継事項を確認するため開催された旨報告があった。

4) 科所長会議（5月12日）

①平成28年度国立大学法人運営費交付金概算要求

資料P38～44に基づき、概算要求の方向性について説明があり、本研究所としては、共同利用・共同研究拠点に係る次期申請が認定された場合は要求を行うこととなるが、本要求以外、特段要求を行わない方針である旨説明があった。

②平成27年度夏季における期末・勤勉手当等

資料P45～46に基づき、昨年度と同水準の支給割合となる旨報告があった。

③老朽建物の外壁劣化状況への対応

学生、教職員等の安全確保及び施設の維持管理の確保のため、対象建物について緊急調査を実施することとなった旨報告があった。また、新図書館建設工事の一環として、月に1回程度、大量の工事車両が入構する予定である旨報告があった。

5) 名誉教授選考委員会（5月12日）

6月23日に開催される教育研究評議会において、名誉教授の称号付与者が決定する旨報告があった。

6) その他

①平成27年度科学研究費について

資料P47に基づき、平成27年度の科学研究費助成事業について、本研究所教員及び日本学術振興会特別研究員の内定状況の報告があった。

②日本学術振興会学術システム研究センター平成28年度新規研究員候補者の募集について、今回は推薦する予定がない旨説明があった。

3. 各委員会報告

1) 財務委員会

特になし。

2) インフラ委員会

高橋委員長から、資料P 4 8に基づき、今夏から今秋にかけて、共同研究室（5室）の定員を超える訪問研究員等が在籍する予定であるため、研究企画委員会より研究室増設の要望があった旨報告があり、同委員会に対して、稼働率の改善や研究室利用に係る優先順位を定める等、諸々検討を要請したこと、それでもなお不足する場合は、第三会議室を臨時に転用することを検討していること等報告があった。続いて、定年退職教員の研究室の残存荷物の問題について、所長名で荷物の移動を依頼する文書を送付した旨報告があった。

続いて、本研究所建物裏口のドライエリア配水管にコンクリート片と思われるものが堆積し、大雨等により地下が水侵しになる懸念が生じているため、総合研究博物館と諸調整を行ったうえ、配水管調査の実施等検討している旨報告があった。

最後に、高見澤所長から、208号室について、教育学部建物の耐震工事に伴い、同学部より研究室貸与の要望があったため、本委員会で貸与の可否等検討いただきたい旨要請があった。

3) 情報・広報委員会

池本委員長から、資料P 4 9～5 2に基づき、研究所ホームページの各頁アクセス数、facebookの記事別リーチ数について報告があり、続けて、8月5日～6日に開催されるオープンキャンパス及び8月の2日間で実施する本部企画「東大の研究室をのぞいてみよう！」の対応教員を募集していること、7月7日（平日）午後に新たに春の公開講座を開催し、長澤教授に講師を依頼していること、現在制作中の「要覧（活動報告書）」について、6月中旬頃までに刊行予定であること、寄附募集の案内を含めた研究所パンフレットを制作予定であること等報告があった。

4) 研究企画委員会

柁屋委員長から、資料P 5 3のとおり、今年度の定例教授会等の発表予定者を決定したこと、6月2日締切にて紀要別冊、叢刊の募集に係るアンケートを実施すること、インフラ委員会からの要請により訪問研究員等の共同研究室利用に係る優先順位等を検討中であり、次回教授会までに報告する予定であること等報告があった。

5) 東洋学研究情報センター委員会

長澤委員長から、6月1日締切にてセンター叢刊への刊行者を募集していること、次期認定申請も兼ねる共同利用・共同研究拠点の期末評価調書を現在作成しており、5月20日が提出期限となっていること、6月8日～12日の日程で平成27年度漢籍整理長期研修（前期）を開講すること等報告があった。

6) 図書委員会

安富委員長から、新図書館計画のうち特にアジア研究図書館に係る計画を中心として、本計画の現状、課題等について説明があり、本委員会を中心に改めて課題等を整理し、計画当初からの関係部局として課題等の解決に向けて働きかけていくことが確認された。

7) その他

菅環境安全衛生管理室長から、6月1日の13時より産業医による巡視が実施される予定である旨報告があった。

4. その他

池本教授から、日本・アジアに関する教育研究ネットワークにて平成22年4月設置から5年間の活動報告書を刊行したこと、今年度より医学系研究科の渡辺教授がネットワーク長に就任したこと、担当教員の9月30日付け辞職に伴い、10月1日付け採用予定で後任教員の公募を開始したこと等報告があった。

審議事項

5. 教員の海外渡航について

該当教員から（大木教授、松田教授、張助教は高見澤所長から）説明があり、資料P55～57のとおり8件を承認した。

6. 委員等の応嘱について

該当教員から（松田教授、青山准教授は高見澤所長から）説明があり、資料P58のとおり4件を承認した。

7. 非常勤講師等の応嘱について

該当教員から説明があり、資料P59のとおり1件を承認した。

8. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から（園田教授、松田教授は高見澤所長から）説明があり、資料P59～61のとおり5件を承認した。

9. 学内委員の委嘱について

高見澤所長から、資料P62に基づき説明があり、承認された。

10. 所内委員会について

高見澤所長から、資料P63に基づき説明があり、東洋学研究情報センター委員長代理が板倉教授となる旨訂正を含めて、審議の結果、承認された。

11. 寄附金の受け入れについて

高見澤所長から、資料P64に基づき、田中委嘱教授分1件の説明があり、承認された。

12. テヘラン大学との全学覚書の更新について

榊屋研究企画委員長から、資料P65～67に基づき、人文社会系研究科を担当部局、森本准教授を本研究所の幹事教員として、学生交流のための全学覚書を更新する

よう準備を進めている旨説明があり、承認された。

13. 平成26年度決算について

名和財務委員長から、資料P68～74に基づき、平成26年度の予算執行状況、収支状況、預託金・剰余金の現在高、間接経費の受払状況等について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

14. 平成27年度予算配分案について

名和財務委員長から、資料P75～78に基づき、昨年度末の教授会で承認された個人研究費の追加配分を加え、前年度決算に基づく調整等を加えた配分案について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

15. その他

高見澤所長から、先週末、新世代アジア研究部門（外国人著名教授枠）特任教授候補者の推薦を締め切り、人事選考を開始した旨報告があった。

以上